ア　Ⅰ種試験名簿からの採用状況

Ⅰ種試験の名簿は３年間有効であり、旧年度名簿からの採用を含めた平成24年度の採用者数は549人で、前年度に比べ62人増加している。平成23年度から国家公務員の新規採用抑制が行われている中で採用者数が増加した背景には、「平成24年度の国家公務員の新規採用抑制方針」（平成23年６月17日閣議決定）における各府省の採用上限値は、平成21年度比で約３割の抑制となっているものの、東日本大震災への対応等から全体としては6,336人とされ、「平成23年度の国家公務員の新規採用抑制方針」（平成22年５月21日閣議決定）における同上限値5,333人と比較すると増加していることがあるものと考えられる。また、平成25年３月31日現在における採用候補者名簿の残存者数は111人となっている。残存者の中には、大学院修士課程等への進学等のため採用希望時期の延期を申し出ている者も多く含まれている（表１－３、１－４）。

**表１－４　国家公務員採用Ⅰ種試験及び国家公務員採用総合職試験の年度別、学歴別の合格者数及び採用者数**

（単位：人、％）

| 学歴 | 項目 | | 名簿作成年度（採用年度） 国家公務員採用Ⅰ種試験 19（20） | 20（21） | 21（22） | 22（23） | 23（24） | 国家公務員採用総合職試験 24 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 大学院・大学 | 国立 | 合格者数 | 1,170 (74.0) | 1,153 (74.6) | 1,130 (75.6) | 1,018 (77.5) | 1,061 (76.3) | 1,035 (71.0) |
| | | 採用者数 | 437 [76.7] | 472 [78.0] | 477 [79.0] | 400 [82.1] | 452 [82.3] | |
| | 公立 | 合格者数 | 38 (2.4) | 40 (2.6) | 36 (2.4) | 25 (1.9) | 27 (1.9) | 38 (2.6) |
| | | 採用者数 | 14 [2.5] | 6 [1.0] | 9 [1.5] | 5 [1.0] | 8 [1.5] | |
| | 私立 | 合格者数 | 363 (23.0) | 339 (21.9) | 320 (21.4) | 265 (20.2) | 297 (21.4) | 380 (26.1) |
| | | 採用者数 | 119 [20.9] | 125 [20.7] | 118 [19.5] | 80 [16.4] | 88 [16.0] | |
| | **計** | **合格者数** | **1,571 (99.4)** | **1,532 (99.2)** | **1,486 (99.5)** | **1,308 (99.5)** | **1,385 (99.6)** | **1,453 (99.7)** |
| | | **採用者数** | **570 [100.0]** | **603 [99.7]** | **604 [100.0]** | **485 [99.6]** | **548 [99.8]** | |
| その他 | | 合格者数 | 10 (0.6) | 13 (0.8) | 8 (0.5) | 6 (0.5) | 5 (0.4) | 4 (0.3) |
| | | 採用者数 | 0 [0.0] | 2 [0.3] | 0 [0.0] | 2 [0.4] | 1 [0.2] | |
| **合　計** | | **合格者数** | **1,581 (100.0)** | **1,545 (100.0)** | **1,494 (100.0)** | **1,314 (100.0)** | **1,390 (100.0)** | **1,457 (100.0)** |
| | | **採用者数** | **570 [100.0]** | **605 [100.0]** | **604 [100.0]** | **487 [100.0]** | **549 [100.0]** | |

（注）1　（　）内は、合格者総数に対する割合（％）を、［　］内は、採用者総数に対する割合（％）を示す。
2　「その他」は、短大・高専、外国の大学等である。
3　国家公務員採用総合職試験は、院卒者試験（法務区分を含む。）及び大卒程度試験（教養区分を含む。）を合計した人数である。
4　採用者数は、名簿作成年度の翌年度における採用者数である（過年度名簿からの採用者を含む。例えば、平成24年度採用者数には、平成23年度名簿からの採用者のみならず、平成22年度名簿、平成21年度名簿からの採用者を含む。）。

イ　Ⅱ種試験及びⅢ種試験名簿からの採用状況

Ⅱ種試験名簿からの採用者数は1,719人で、前年度に比べ95人増加し、Ⅲ種試験名簿からの採用者数は771人で、前年度に比べ53人増加している（表１－３）。採用者数が増加した背景には、Ⅰ種試験の場合と同様に、上記⑴アの平成24年度新規採用抑制方針における採用上限値が平成23年度の同上限値より増えたことがあると考えられる。

⑵　採用試験に準ずる試験による採用

特許庁で採用する意匠学や農林水産省及び厚生労働省で採用する獣医学等の専門的知識又は技術を必要とする官職については、採用予定数が少ないこと等から正規の試験は行っていないが、選考の一形態として「正規の試験に準ずる試験」を行っている。試験の内容及び方法は、正規の試験とほぼ同様であり、人事院は、基礎能力試験問題の提供、専門試験問題の作成指導等の援助を行っている。

平成24年度においては、「総合職試験（院卒者試験）に準ずる試験」として獣医学区分、「総合職試験（大卒程度試験）に準ずる試験」として意匠学区分、「一般職試験（大卒程度試験）に準ずる試験」として畜産及び造船工学の２区分について実施した。

なお、平成23年度に実施した「Ⅰ種試験に準ずる試験」により採用された者は16人、「Ⅱ種試験に準ずる試験」により採用された者は14人となっている。

２　「一般職の国家公務員の任用状況調査」の実施

人事院では毎年、一般職の国家公務員の任用実態を把握し、今後の任用施策等人事行政全般の検討に資するため、「一般職の国家公務員の任用状況調査」（以下「任用状況調査」という。）を実施している。平成24年度における任用状況調査は、平成23年度に在職した一般職の国家公務員を対象として実施した。

⑴　在職状況

平成24年１月15日現在の一般職の職員（休職者、専従休職者、国際機関等派遣職員、交流派遣職員及び育児休業職員を含み、検察官、臨時的任用の職員、常勤労務者及び非常勤職員を除く。）の在職者数（同日付けで辞職した者を除く。）は337,905人であり、前年と比べ1,064人減少している。

このうち、給与法適用職員は271,157人（前年比2,238人減）、給与特例法適用職員は4,623人（同140人減）、特定独立行政法人職員は61,070人（同1,251人増）となっている（図１－２）。

なお、在職者を男女別にみると、男性は253,781人、女性は84,124人であり、その構成比は男性75.1％、女性24.9％となっている。

在職者のうち、採用試験に合格して記載された名簿から採用された者（以下「試験任用者」という。）の総数は245,359人（男性205,392人、女性39,967人）である。これを試験の種類別にみると、Ⅰ種試験及びこれに相当する試験による者は16,105人（試験任用者全体の6.6％）、Ⅱ種試験及びこれに相当する試験による者は54,608人（同22.3％）、Ⅲ種試験及びこれに相当する試験による者は140,836人（同57.4％）、国税専門官試験・労働基準監督官試験及びこれに相当する試験による者は24,091人（同9.8％）、旧中級試験及びこれに相当する試験による者は9,719人（同4.0％）となっている。在職者総数に対する試験任用者の割合は72.6％であり、前年度に比べ0.4ポイント低くなっている。

また、給与法適用職員のうち、試験採用を行っている俸給表の適用職員について試験任用者の割合をみると、在職者が最も多い行政職㈠では91.8％で、前年度と同じ割合となっている。

その他の俸給表における試験任用者の割合は、専門行政職67.5％、税務職98.5％、公安職㈠72.2％、公安職㈡83.2％、研究職47.2％となっている。